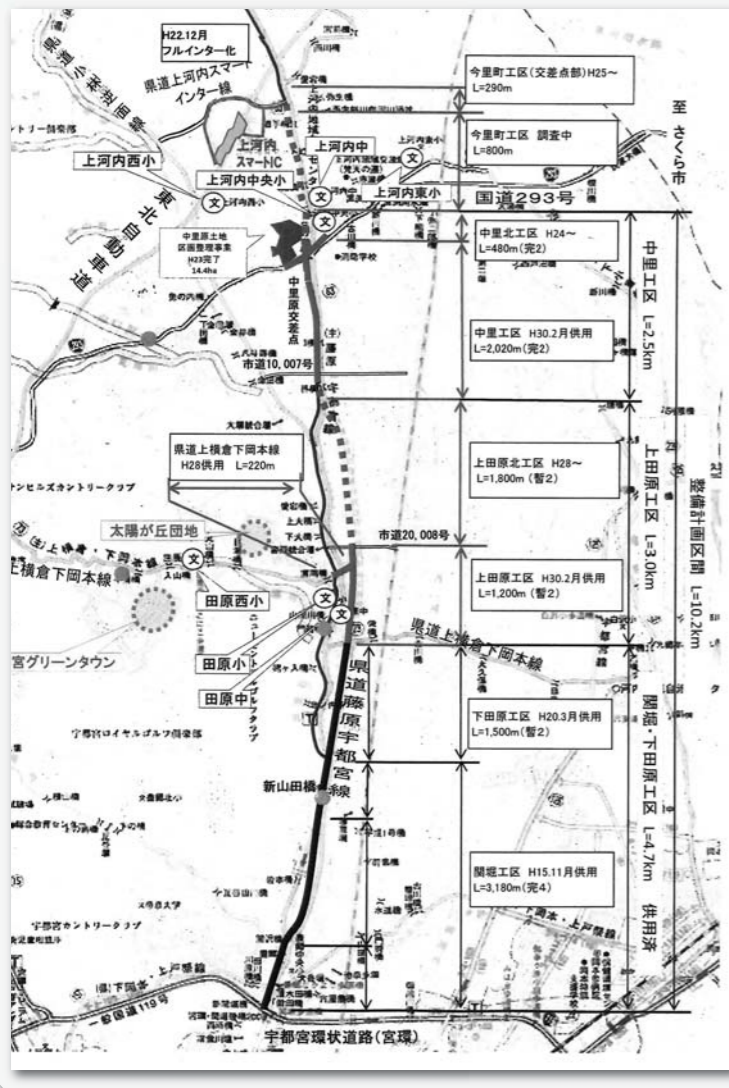


【ご報告4】 2018年7月現在

県道藤原宇都宮線(田原街道)整備計画進捗状況



2011年より、県道藤原宇都宮線整備促進既成同盟のメンバーとして、通称田原街道の拡幅整備及びバイパス工事の推進をして参りました。本県道は日常生活及び経済活動を支える基幹道路であり、地域と宇都宮の中心市街地を結ぶ重要なインフラです。宇都宮北部エリアの活性化のため、整備計画を前進させます。平成29年度には、上田原工区(田原中北)・中里工区(国道293号線南)が完成し、上田原北区のバイパス計画が今年度から用地交渉に入ります。できるだけ早期の完成に向け、これからも全力で取り組んで参ります。

2014年6月16日  
田原街道バイパスに道路灯を設置完了

田原街道バイパスを通学時に利用する、中学・高校生の夜間帰宅時の安全対策「道路灯」設置が実現した。これは、地元住民やPTA保護者の皆様から、防犯対策及び交通事故防止対策を要望され、行政と協議し対応したものの。田原街道バイパスへの道路灯設置は、北部エリアに1ヶ所の設置。道路灯の設置基準は、交差点(大・小不問)の有る場所とあり、バイパス沿線ではこの1ヶ所となる。



田原中、宇都宮北高に通学する生徒の安全確保のため、道路灯を設置しました。

【ご報告5】 岩曾町

岩曾町交通危険地区の时速30km規制完了

岩曾町のざわ特別支援学校東の住宅街の通学路の安全確保の要望があり、現地調査を致しました。周辺は、岩曾の変形交差点の渋滞地域で、渋滞を回避する車が閑静な住宅地に進入し、通学路でもあるため大変危険な状況。交通(速度)規制が必要と判断し、行政と対策を協議。この度、時速30km規制が完了しました。

対策完了



のざわ和一の提案から実現

2013年~15年12月 本会議 成長産業として 林業・木材産業の振興を訴え続け	2013年9月 補正予算要望 とちぎの魅力的な観光スポットを 周遊パスポートで巡る仕組みを提案	2012年5月 臨時会議 本県独自の 災害時緊急相互支援基金の設立を提案	2011年6月 本会議 放射能汚染による風評被害対策 生活者の不安を解消~農業・酪農を守る~
2017年「栃木県産木材利用促進条例」 通称「とちぎ木づかい条例」制定	「本物の出会い 栃木パスポート」 開始	「栃木県被災者生活再建支援制度」 開始	「放射能測定器モニタリングポスト」 県内に29カ所を配備



栃木県議会議員  
野澤和一

かず いち

のざわ和一からのご報告

のざわ和一は、県民の安全安心のため、近年、相次ぐ自然災害への対応や、福祉の充実、地域経済活性化のために全力で取り組んで参りました。県民の皆様からの声を大切に、県でできることは県議会を通し訴え、国レベルの事は国会議員と連携し要請してきました。これからも、「栃木から全国へ希望と元気を!」をモットーに、地元の皆様のご期待に応えて参ります。

【ご報告1】 2015年11月30日

のざわ特別支援学校周辺の安全対策完了

「障がい者福祉ゾーン」として、道路標識と標識の設置が完了。のざわ特別支援学校があるにも関わらず、白沢街道交差点改良による交通安全対策が不備であると、地元から指摘。これを受け、県教育委員会を通し、市道の管理者に対策を要請。



【ご報告2】

大曾町 八幡山公園東斜面崖地補強完了及び雨水排水対策完了

2016年3月17日、雨水対策を要望され、大曾一丁目を現地調査。2014年6月16日夜、記録的豪雨により八幡山公園東斜面が崩壊する災害が発生。大曾一丁目側の住民は一時避難し難を逃れたが、復旧・崖地補強工事完了(2014年11月)後、山側の排水配管から大量の雨水が漏れ敷地内を流れるようになってしまった。県土整備部と連携し、側溝の詰まり除去、配管のサイズアップ、排水管・側溝の暗渠化など雨水排水対策完了。



【ご報告3】 川俣街道 川俣街道安全対策が完了

川俣街道は、カーブが多く道路が狭いため危険。慣れないドライバーは、カーブが切れず事故に繋がることが多い道路です。この度はその安全対策が完了しました。今回は「カーブ注意」の道路標示のリニューアルが完了。また、通勤ラッシュ時は押しボタン信号待ちで渋滞が常態となっていたため、渋滞解消の対策として、押しボタン信号の「青」の時間を3秒延長して、15秒→18秒に。車の流れがスムーズになりました。



県民相談連絡先

県議会議員 のざわ和一

〒321-0112 宇都宮市屋敷町1510番7  
http://nozawa-kazuichi.com

TEL FAX 028-678-6873  
MOBILE 080-2250-8024

